

佐賀県感染症発生動向調査速報

平成16年第28週 平成16年7月5日(月)～平成16年7月11日(日)

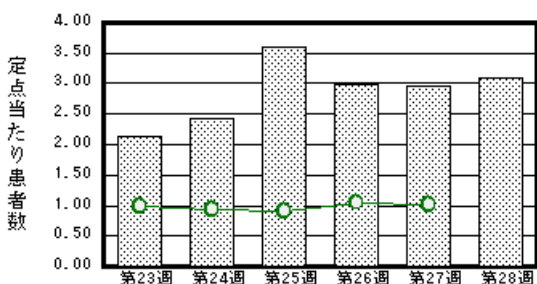
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

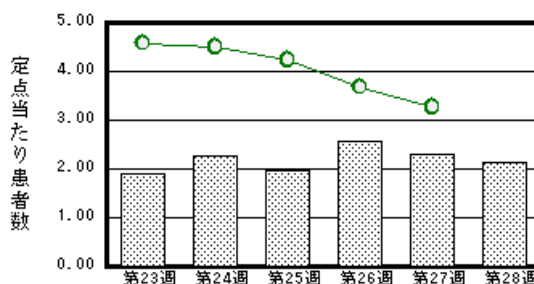
注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 流行性耳下腺炎 (71名) 感染性胃腸炎 (49名) ヘルパンギーナ (45名)
突発性発しん (44名) 水痘 (43名)
- 【流行性耳下腺炎】患者報告数が増加しました (68名 71名)。特に唐津保健所管内で多く報告されています (44名)。
- 【ヘルパンギーナ】患者報告数が増加しました (28名 45名)。うがい、手洗い等、感染予防に努めましょう。
- 【腸管出血性大腸菌感染症】唐津保健所管内5名 (O157)、鳥栖保健所管内1名 (O157) の届出がありました。手洗いや食品の温度管理、十分な加熱など一般的な食中毒予防を心がけましょう。

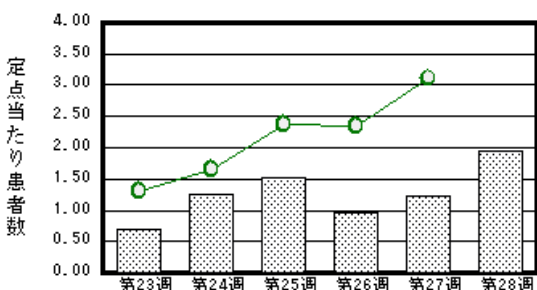
流行性耳下腺炎



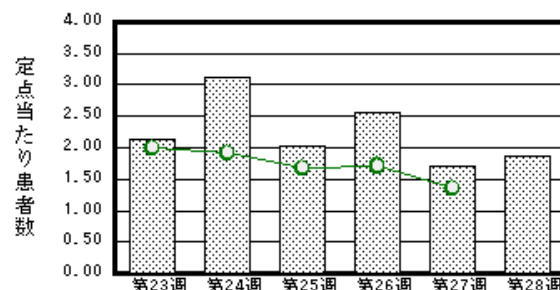
感染性胃腸炎



ヘルパンギーナ



水痘



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2004年第26週号 (6月21日～6月27日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第26週 > 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は過去10年間の全ての週と比較して最高値を更新した / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< 腸管出血性大腸菌感染症 > 保育所などでの集団発生が散見されているので、普段からの手洗い、園児に対する排便後・食事前の手洗いの指導の徹底が重要である
・ 病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2004年 / 咽頭結膜熱患者から分離されているアデノウイルス2004年 / 小型球形ウイルス (RSV) 2004年第20週 (6/10～)以降
・ 速報	< 今週は該当記事はありません >
・ 海外感染症情報	< 今週は該当記事はありません >
・ 感染症の話	< 今週は該当記事はありません >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.gov.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症 (O157) (三類感染症)	腸管出血性大腸菌感染症 (O157) (三類感染症)
患者 (住所地)	3名 (男児1名、女児1名、20歳代女性1名) (唐津保健所管内)	1名 (60歳代男性) (三養基郡)
無症状病原体保有者	2名 (20歳代男性、70歳代男性)	0名
感染原因・感染経路	調査中	不明
平成16年届出累計	4件12名【今週1件6名(うち5名は第27週届出関係者)】	
平成15年	同期	8件14名
	届出累計	25件42名

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成16年第28週 平成16年7月5日(月)~平成16年7月11日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第27週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)								19 0.00
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								20
	咽頭結膜熱	3 0.38	3 1.00	3 0.75	2 0.67	2 0.40	13 0.57	23 1.00	2882 0.95
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	9 1.13	6 2.00		1 0.33	2 0.40	18 0.78	18 0.78	4048 1.33
	感染性胃腸炎	11 1.38	19 6.33	2 0.50	1 0.33	16 3.20	49 2.13	53 2.30	9947 3.27
	水痘	13 1.63	4 1.33	11 2.75	5 1.67	10 2.00	43 1.87	39 1.70	4100 1.35
	手足口病	10 1.25	6 2.00	8 2.00		3 0.60	27 1.17	42 1.83	2587 0.85
	伝染性紅斑	1 0.13	3 1.00		7 2.33		11 0.48	7 0.30	1757 0.58
	突発性発しん	11 1.38	9 3.00	16 4.00	3 1.00	5 1.00	44 1.91	33 1.43	2581 0.85
	百日咳				1 0.33		1 0.04		53 0.02
	風しん								88 0.03
	ヘルパンギーナ	12 1.50	13 4.33	8 2.00		12 2.40	45 1.96	28 1.22	9453 3.11
	麻しん (成人 麻しんを除く)		1 0.33				1 0.04		32 0.01
流行性耳下腺炎	13 1.63	9 3.00	44 11.00	1 0.33	4 0.80	71 3.09	68 2.96	3100 1.02	
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								6 0.01
	流行性角結膜炎							1 0.25	572 0.90
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								6 0.01
	無菌性髄膜炎							3 0.50	34 0.07
	マイコプラズマ肺炎			1 1.00			1 0.17		113 0.24
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								8 0.02
	成人麻しん								2 0.00

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は26週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成16年第28週 平成16年7月5日(月)~平成16年7月11日(日)

インフルエンザ 定点	インフル エンザ (高病原 性鳥イン フルエン ザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満					1			3						6ヶ月未満						1		
12ヶ月未満		12ヶ月未満				2		3		31	1		3		2	12ヶ月未満								
1歳		1歳		3	1	11	9	7		10			16		5	1歳								
2歳		2歳			1	5	12	1	2				7		6	2歳								
3歳		3歳		1	2	6	2	2					7		6	3歳								
4歳		4歳		2	3	7	6	5					4	1	11	4歳								
5歳		5歳		3	4	6	9	8	2				4		10	5歳								
6歳		6歳		3	2		2	1	1				3		15	6歳								
7歳		7歳		1	2	4	1		3						7	7歳								
8歳		8歳			2	2	1		3						3	8歳								
9歳		9歳			1	3									2	9歳								
10歳~14歳		10歳~14歳				1							1		3	10歳~14歳								
15歳~19歳		15歳~19歳													1	15歳~19歳								
20歳~29歳		20歳以上				2										20歳~29歳								
30歳~39歳																30歳~39歳								
40歳~49歳																40歳~49歳								
50歳~59歳																50歳~59歳								
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計		13	18	49	43	27	11	44	1		45	1	71	合計						1		
前期計		前期計		23	18	53	39	42	7	33			28		68	前期計		1			3			
当期間/前	***	当期間/前	***	0.57	1	0.92	1.1	0.64	1.57	1.33	***	***	1.61	***	1.04	当期間/前	***		***		***	***	***	***
増減数		増減数		-10		-4	4	-15	4	11	1		17	1	3	増減数		-1			-3	1		

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

